

JICA海外協力隊として派遣されます

独立行政法人国際協力機構のJICA海外協力隊として、香北町出身の山本さおりさんの派遣が決定し、11月20日に、出発報告のため市役所を訪れました。

山本さんは「服飾」隊員として、今月から約2年間、ガーナ共和国に派遣されることになっており、ミシンの基本操作や縫製、服飾デザインなどを指導する予定です。現地での活躍を期待しています。



11月9日～15日にかけて実施された秋季全国火災予防運動期間中、バリューノア店の駐車場で土佐山田幼稚園と第二土佐山田幼稚園の園児が、マーチングで火災予防を呼びかけました。

今回、園児がマーチングで使用した鼓笛隊セットの一部は、宝くじの助成金で整備したものを使用しており、園児たちの元気いっぱいの演技に、観客も目を細めていました。

火災の発生しやすい時季を迎えましたので、皆さんも、火の取扱には十分注意してください。



ファーストスプーンづくり

香美市在住の妊婦・乳幼児の保護者を対象として、香美市産材を使ったファーストスプーンづくりが開催されました。9～11月に子育てセンターなかよし、子育てセンターびらふ、大栃保育園それぞれで行われたこのイベントは、「緑の募金」が活用されており、小さい頃から木に触れて、自然を大切にしてほしいという思いから実施されたものです。

会場には託児スペースがあり、日ごろ子育てに励む皆さんも育児から離れ、2時間集中して作っていました。また大栃保育園では、ファーストスプーンを作っている保護者のすぐ隣で、園児を対象に木工体験が実施され、木の葉やドングリ、木材などと、木からできた「木粉ねんど」を組み合わせ、思い思いの作品を作っていました。

参加者の皆さんは、我が子のことを考えながら、使いやすい形になるよう一生懸命作っていました。木の心地よさや自然の大切さ、お子さんへのたくさんの愛情が感じられるイベントとなりました。



神池芋のプデンが完成！

11月19日に、山田高校地域みらい部の生徒3名と市内スイーツメーカーのワンデースイーツラボが市長のもとを訪れ、新製品「神池芋のプデン」の完成を報告しました。

この製品は、原材料に物部町の神池地区で栽培されている神池芋（高系4号）を使用したオリジナルのプデン(※)で、山田高校地域みらい部の生徒とワンデースイーツラボが共同開発したものです。

神池芋の独特な旨味と香りで、上品かつなめらかな味に仕上がっており、「伝説の芋」を感じられる一品となっています。



※ プデン・・・プリンに似たブラジル発祥のお菓子

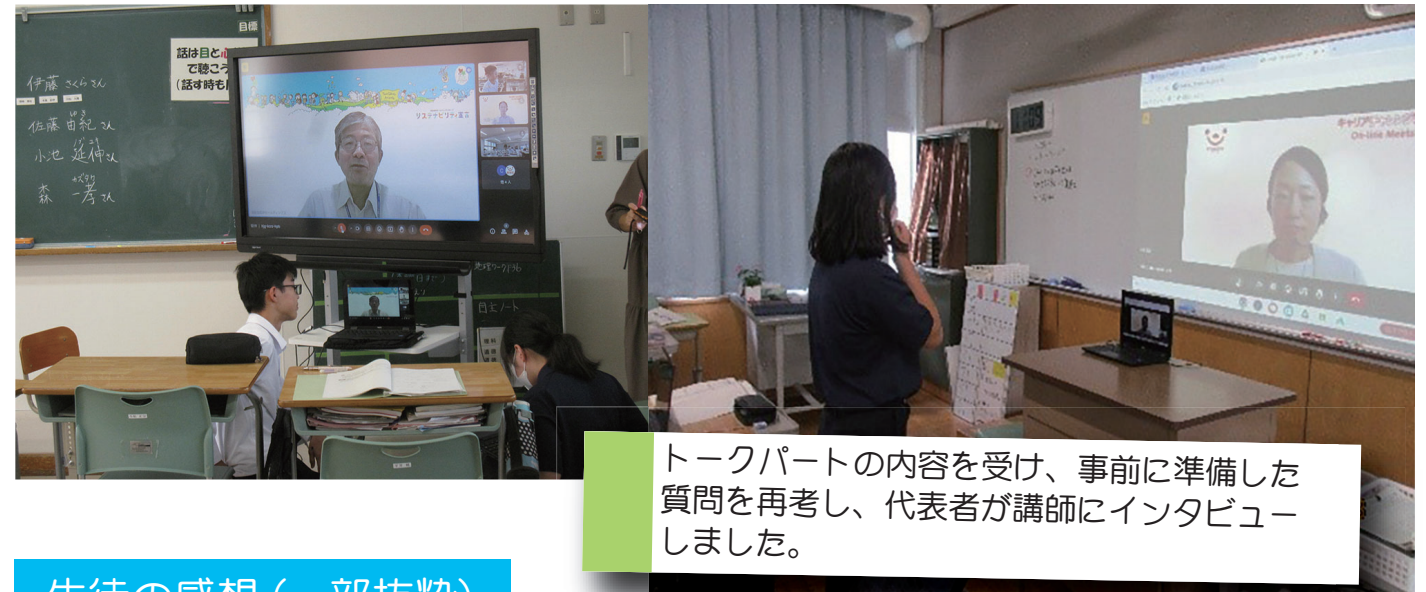
キャリアチャレンジデイ当日の様子

【講師トークパート】



メモを取ったり、うなずいたりしながら、熱心に講師の話を聞いていました。

【インタビューパート】



トークパートの内容を受け、事前に準備した質問を再考し、代表者が講師にインタビューしました。

生徒の感想（一部抜粋）

今回のキャリアチャレンジデイを行う前は、「将来はこうなろう!」と思っていたが、キャリアチャレンジデイを通して将来こうなるために大切なこととはなんだろうと考え始めました。

話せるのは母国の日本語だけでなく、世界のグローバル化に合わせて英語も話せるようになりたいと思いました。



働く人は自分の生活のために仕事をしていると思っていたけど誰かに喜んでもらうため、役に立つために仕事をしている人が多いと分かりました。人のために働くということに熱意を感じて、どんな状況においても自己中心的にならずに周りを見て行動しようと思いました。